

3-8 伊豆沼・内沼よみがえれ在来生物プロジェクト事業

事業目的

宮城県内の湖沼でみられる外来生物の侵入問題は、多くの在来生物・植物の生息・生育に悪影響を与えています。

県内で先進的に外来魚駆除に取り組む伊豆沼・内沼で外来生物の駆除及び在来生物が生息・生育しやすい環境を創出・増殖させるモデルケースを実施して技術確立し、伊豆沼・内沼の生物多様性の保全を図るとともに、同様の問題を抱える県内の湖沼へ技術を普及及び啓発させる取組を行います。

事業内容

- 1 潜在能力開発・発揮
生息・生育状況調査, 二枚貝等在来生物の増殖・移植
- 2 在来種増加の取組み
在来魚産卵魚礁の設置, 屋外適地での在来魚等の保存系統と増殖
- 3 外来生物の駆除
電気ショッカーボート等による外来生物の駆除, 外来水生植物の除去
伊豆沼流域ため池の外来生物の駆除

平成28年度事業費 8,000千円

事業効果

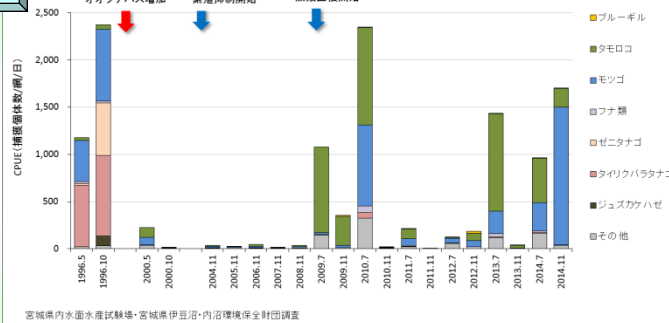
CO2削減効果	—
その他(取組数)	7 事業



電気ショッカーボートによる外来魚の駆除

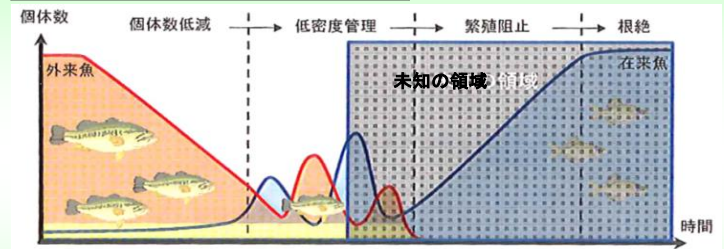
現状

定置網による在来魚類の捕獲数



これまでの在来魚増加対策は外来魚駆除が中心であり、在来魚の増加は自然まかせで、個体数は増減を繰り返しています。

税導入後のイメージ



外来魚個体数の低密度管理、繁殖阻止と併せて、在来魚の棲みやすい環境を整備し、在来魚の増加を目指します。